

2020. 3. 13

畑 啓之

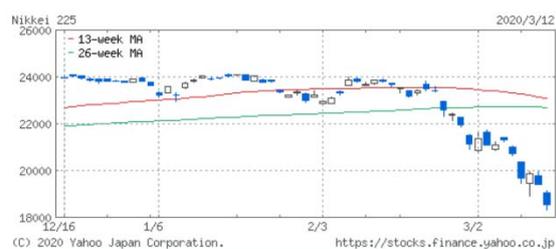
誰がパンドラの箱を開けたのか？ 世界に、そして中国には特にあらゆる厄災が

今回の新型コロナウイルスは世界を震撼させている。米国はイギリスを除くヨーロッパの国々からの渡航を30日間禁止した。インドも全世界に対して門戸を閉じた。他の国々も程度の差はあるものの、同様の措置を講じている。

これにより、経済への大きな影響はもはや不可避となり、世界各国の株式はいままでも下がり続けていたが、その暴落の速度がさらに加速した。株式を今手放さなければ破産するという状況下で投げ売りする投資家も多いだろう。正に市場は今パニック状態にある。



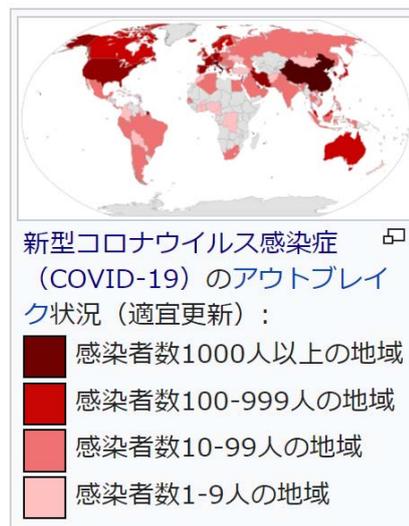
1日 | 1週 | 1か月 | **3か月** | 6か月 | 1年 | 2年 | 5年 | 10年



1日 | 1週 | 1か月 | **3か月** | 6か月 | 1年 | 2年 | 5年 | 10年

新型コロナウイルス (COVID-19) の状況は右のとおりであり (2019 新型コロナウイルス、Wikipedia)、世界的な感染拡大が続いている。

今回の新型コロナウイルス蔓延の震源となった中国では、多くの感染者の発生、およびその感染拡大を抑え込むための措置により経済活動が停止し、大きな経済的ダメージを受けている。それに加えて、食に関する問題も複数出現している。アフリカ豚コレラや鳥インフルエンザの発生、バッタやツマジロクサヨトウの侵入による農作物被害 (被害拡大の恐れ) などである。



アフリカ豚コレラではすでに豚肉価格が上昇し、鳥インフルエンザでは多くの鶏が処分された。バッタの襲来はいよいよか。そしてツマジロクサヨトウに至っては昨年初めて農作物が食害を受け、今年はその規模が急拡大するものと考えられている。

以下に、バッタおよびツマジロクサヨトウに関する記事を引用したが、ツマジロクサヨトウは新たに出現した害虫であり、既に日本にも上陸しているようであるので、他人事ととらえてはならない。

以下は引用記事

中国政府、異常繁殖したバッタの大群侵入に厳戒態勢…農業と中国経済に壊滅的被害か
新型コロナウイルスが猛威を振るう中国は、新たな危機に直面している。

経済農業研究所 2020年3月4日

中国当局は2月27日、「中国は、東アフリカで発生しインドやパキスタンに広まったサバクトビバッタの大群の侵入リスクにさらされている」と警告し、各部門に被害拡大防止体制を整備するよう求めた。

サバクトビバッタの寿命は約3カ月で、その間に繁殖する。繁殖の条件がよければ、次の世代のバッタは20倍に増えると言われている。2018年の2つのサイクロンによってわずか9カ月の間にアラビア半島に生息するバッタは約8000倍に増加した。その後、2019年10月に東アフリカの広い範囲で激しい雨が降り、2020年1月にケニアで過去70年で最悪の規模の被害が発生している。サバクトビバッタは1日当たり約150km移動できるとされており、被害地域はさらに広がっている。

中国では2018年8月からアフリカ豚コレラが蔓延し、国内の豚の飼育頭数が30%減少したことから、豚肉価格が高騰している。豚肉価格は昨年11月から前年比110%以上となっているが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大で物流機能が麻痺したことから、豚肉価格はさらに上がっている。中国の国民食ともいえる豚肉の価格の大幅値上げは、都市部住民にとって不満以外の何ものでもない。中国の1月の消費者物価は5.4%と上昇しているが、実勢はもっと高いだろう。

これに加えてサバクトビバッタの襲来で、小麦やトウモロコシ、大豆などに大きな被害が出ることになれば、都市部の住民の生活は成り立たなくなってしまう。

中国蝗災史（こうさい、Wikipedia）

中国に被害を与えてきたトノサマバッタ

中国では、トノサマバッタによる大規模な農被害、いわゆる蝗害（蝗災）が天災の一つに数えられている。その存在は多くの資料に頻繁に見られ、地域規模ですべての食料を食い尽くしてしまう。これが民衆に与える被害は甚大なもので、餓死者が大量発生するのはもちろん、人肉を食うといった事態も多発した。

ツマジロクサヨトウ、中国 8 省で確認 年内約 6 万平方キロメートルの農地に影響
大紀元 2020 年 03 月 10 日

ツマジロクサヨトウ、中国 8 省で確認。中国農業農村部によると、冬と春の気温が高い今年、昨年よりも被害が大きくなる見込みという。今年 3 月の時点で、すでに影響規模が昨年被害の 1600 万ムー（10672 km²）に達しているという。

中国農業技術網によると、ツマジロクサヨトウは雲南、広東、海南、広西、福建、四川、貴州、江西など 8 省の 228 県で確認された。雲南省では 9 割のトウモロコシ生産地域で影響を受けている。

アメリカ大陸の熱帯および亜熱帯地域に発生するツマジロクサヨトウは、食欲が旺盛で繁殖力も強く、トウモロコシのほか、水稻、キビ、サトウキビ、野菜、綿花など、80 種以上の作物を食害する。

気温が上がる春に成長速度が増し、約 1 カ月で一世代の繁殖を行う。昨年の台湾農業委員会によると、群れの移動速度は速く、中国では昨年 1 月に初めて侵入し、モンスーン発生時期から移動が加速。5 月半ば～6 月下旬の 1 カ月半あまりで米国からアフリカ、アジア、台湾への移動と被害が報告された。

日本の農林水産省によると、ツマジロクサヨトウは一世代で 500 km、一晩で最大 100 km 移動する。日本では 2019 年 7 月、鹿児島県南九州市内で国内で初めて報告され、11 月ごろまで東北地方で広がりが確認されている。今年もすでに、沖縄県と鹿児島県の一部で報告されている。

中国メディアは 2 月、2020 年のツマジロクサヨトウの影響範囲は 8000 万から 1 億ムー（5 万 3360～6 万 6700 km²）の農地に達する可能性がある」と推定している。
（翻訳編集・佐渡道世）

次の記事から中国の耕地面積は約 130 万 km²（国土面積 960km² の 13.5%）であるので、6 万 km² はまだその一部分ではある。ただし、1 日に 100km の距離を移動できるとすると、ある点から 1 日目には 1 km 半径の円、2 日目には 2 km の円・・・が描ける。1 カ月（30 日）後には 30km の円が描けることになり、この面積は 2800km² であり、進行方向をを考えてこの半分としても 1 カ月で 1400km² の耕地が食害の危機にさらされることになる。これは 1 点からの計算であるが、実際はすでに害虫は面で押し寄せてきているので、その破壊力にはすさまじいものがある。たとえば、フロントの幅が 100km とすると、1 カ月で覆いつくす面積は 30 万 km² となる。

中国の農地—その量、質、制度（その 1）

Science Portal China 2014 年 9 月 30 日

https://spc.jst.go.jp/hottopics/1410/r1410_shiraishi1.html

表1 中国の農地面積と灌漑面積(単位:万ha)

年次	農地面積		有効灌漑面積 (b)	有効灌漑面積率 b/a
	データ1	データ2(a)		
2000年	13,004.0	12,824.3	5,382.0	42.0%
2001年	13,004.0	12,761.6	5,424.9	42.5%
2002年	13,004.0	12,593.0	5,435.5	43.2%
2003年	13,004.0	12,339.2	5,401.4	43.8%
2004年	13,004.0	12,244.4	5,447.8	44.5%
2005年	13,004.0	12,206.7	5,502.9	45.1%
2006年	13,004.0	12,177.6	5,575.0	45.8%
2007年	13,004.0	12,173.5	5,651.8	46.4%
2008年	12,172.0	12,171.6	5,847.2	48.0%
2009年	12,172.0	13,538.5	5,926.1	43.8%
2010年	12,172.0	13,526.8	6,034.8	44.6%
2011年	12,172.0	13,523.9	6,168.2	45.6%
2012年	12,172.0	13,515.9	6,303.6	46.6%

注1「データ1」は『中国統計年鑑』掲載の数値である。注2「データ2」は『中国農業発展報告2010』と「国土資源公報2013」掲載のである。出所:「データ1」は『中国統計年鑑』各年版。「データ2」の00～08年は『中国農業発展報告2010』、09～12年は「国土資源公報2013」。灌漑面積は『中国統計年鑑2013』。

日本も蝗害の歴史があった。こちらはトノサマバッタではなく、ウンカによるものです。以下、書籍「徳川時代の底力 山崎善弘 (2017)」より引用

享保 17 年 (1832 年) の飢饉である。享保 10 年代は小氷期であり寒冷な気候が続き作柄は伸び悩んだ。享保 17 年 5 月からは長雨が続き、閏 5 月には九州地方で大洪水が発生します。その後は一転して早魃となりますが、気温が上がりませんでした。九州地方では、6 月下旬にウンカが大量発生するに至り、蝗害による享保の飢饉が始まったのです。

図6-2 江戸時代の気候



餓死者は1万 2172 人、飢人は 25 万 6539 人に上りましたが、この数値はかなり低く見積もられたものでした。餓死者が多く出れば、仕置 (政治) 不行届きとして幕府から藩の責任を問われかねなかったからです。

(※中国を連想させます)

表6-2 享保の飢饉における私領の被害と幕府による救済

国	藩	平年比 (%)	飢人数 (人)	餓死人数 (人)	拝借金 (千両)	廻米石高 (石)
紀伊	和歌山	45.2			20	7,000
和泉	岸和田	49.2			5	
出雲	松江	30.9	100,000		12	15,579
	広瀬	26.3	9,000		3	1,200
	母里	18.6			2	
石見	浜田	34.8	9,300		5	2,500
	津和野	15.2	12,500		4	2,500
安芸	広島	37.9	256,539	976	20	12,330
長門	萩	24.6	202,170		20	16,537.926
伊予	西条	49.7	22,678	113 5,705	3	3637.400
	小松	9.7	5,411		2	800
	今治	16.4	26,553		3	5,895.722
	松山	0	94,783		12	21,488
	松山新田	0			2	
	大洲	34.9	43,000		5	9,574.700
	宇和島	10.4	56,980		10	1,516
吉田	25.4	24,600	3	1,137		
土佐	高知	49.4			15	
筑前	福岡	23.2	95,000	1,000	20	23,625.598
	秋月	23.9	11,210		5	1,576.177
筑後	久留米	4.5	118,565	207	15	17,120.102
	柳川	5.6	63,000	878	10	8,731.551
	三池	7.1	5,885		2	1,542.951
肥前	佐賀	9.0	110,000	12	20	36,496
	島原	20.5	45,154		5	3,150.132
	大村	5.2	12,120		3	1,171.200
	唐津	1.1	50,207		7	7,784
	平戸	19.2	66,727	123	5	8,561.800
	平戸新田	0			2	
福江	30.9	5,688	352	2	630.075	
対馬	府中	0	8,306		2	660
肥後	熊本	15.1	45,636	8	20	3,699.940
	人吉	25.1			3	
豊前	小倉	30.5	39,700	1,013	12	8,583.700
	小倉新田	7.7	2,630	87	2	859.984
	中津	26.5	38,110	780	10	8,226.205
豊後	杵築	31.2	10,000		3	1,683.186
	日出	22.5	17,000		3	1,202.452
	府内	30.1	11,440		3	1,402.778
	森	10.1	9,349		2	801.855
	岡	31.6	33,670		7	5,016.432
	臼杵	29.4	21,701		5	2,404.265
	佐伯	14.3	16,600		3	1,522.080
日向	延岡	38.5	17,666		7	4,640
	高鍋	33.1			3	

倉地克直『江戸の災害史』第2章所収の表9をもとに作成